

広報

く 留 米

KURUME CITY PUBLIC RELATIONS

号外



東京2020オリンピックで素根輝選手 柔道女子78kg超級優勝



久留米市出身素根輝選手

金

メダル



東京オリンピック直前に南筑高校で練習。練習が終わった後も投げの確認をしていました



7月2日、オリンピック前に行われた壮行会。後輩たちからエールが送られました



貫いた 自分の 柔道

写真：千葉 格 / アフロ

78kg超級は体重が無制限。体格差を物ともせず、最後まで技をかけ続けました

数々の業績は後輩たちの誇り

素根選手は7歳から柔道を始め、小学6年生の時、全国小学生学年別柔道大会で優勝しました。田主丸中学校に進学し、2、3年でも全国大会を連覇。南筑高校に進学します。平成29（2017）年の金鷲旗高校柔道大会で大会史上初となる、決勝5人抜きを果たし、チームを優勝に導きました。平成30（2018）年には金鷲旗高校柔道大会2連覇、アジア競技大会で史上最年少優勝、平成31（2019）年の全日本選抜柔道体重別選手権大会で3連覇など数々の大会で優秀な成績を収めています。今でも年に数回は母校で練習を欠かしません。ひたむきに練習する姿は後輩たちの目標であり、誇りとなっています。

◎広報戦略課（0942・30・9119、FAX 0942・30・9702）



くるっぴも柔道着で応援しました

3倍努力の継続が結果に



南筑高校柔道部顧問 松尾浩一先生

輝は座右の銘としている「3倍努力」をずっと続けていました。練習の量、質、柔道に対する気持ちなど全てにおいて、人の3倍を実践。自分を追い込めない環境の方が不安と言うほどストイックな姿勢でした。3倍努力の成果が出て、本当に良かったと思います。次のパリ五輪でも金を目指してほしい。本当におめでとう。

おめでとう 素根選手

偉大な先輩と同じ畳で練習

金メダルおめでとうございます。輝先輩が練習するときは、柔道への真剣なオーラが伝わって、周りの空気が変わります。自分たちは、はるかに違う練習量や納得いくまで稽古をする姿を見ると、すごい先輩だと思います。同じ畳、同じメニューで練習できたことは貴重な体験でした。これからも先輩の姿を見習って頑張りたいです。



南筑高校柔道部女子主将 須田菜月さん



中学、高校で一緒に練習した素根選手（右）と古賀若菜選手（左）

柔道女子 78kg超級 試合結果一覧

シード権獲得のため2回戦より出場	
2回戦	対戦相手：ラズ・ヘルシュコ選手（イスラエル） 体落として一本勝ち
準々決勝	対戦相手：カイラ・サイト選手（トルコ） 体落としの技ありと横四方固めの技ありで一本勝ち
準決勝	対戦相手：イリーナ・キンゼルスカ選手（アゼルバイジャン） 大内刈りの技ありとけさ固めの技ありで一本勝ち
決勝	対戦相手：イダリス・オルティス選手（キューバ） 相手選手の反則により、勝利

市東京オリパラ事前 キャンプ特設サイト

7月30日、素根選手が長年の夢であった東京2020オリンピック柔道女子78kg超級に出場し、見事金メダルを獲得しました。激闘の末、悲願の勝利

「3倍努力」で稽古を続けてきた素根選手は、初戦から順調に一本勝ちを決め決勝戦に挑みました。相手は宿敵イダリス・オルティス選手（キューバ）。令和元（2019）年のグランドスラム・大阪でも激闘を繰り広げた相手です。試合開始後すぐに激しい組み合いをしながら、お互い一步も譲りません。試合は延長戦にもつれ込みます。素根選手は体格差がありながらも積極的に技を仕掛けます。なかなか技を繰り出せないオルティス選手に指導が3つ入り、素根選手は見事メダルをつかみ取りました。

素根選手は試合後に「新型コロナウイルス禍の中でもオリンピックが開催され、感謝の気持ちでいっぱいです。とにかく先に攻めよう、絶対に負けないという気持ちで挑みました。頑張ってきて本当に良かったです」と勝利をかみしめていました。



これ、何、してる!?

【号外編】

《練習場所は高良山! ?》

南筑高校柔道部の名物が、高良山のランニングトレーニングです。道場から高良大社まで約4キロの往復は、素根選手も「過酷だった」と言うほど厳しいものです。この伝統の練習は現在も受け継がれています。

高良大社にある131段の階段をダッシュで5本駆け上がります



素根輝選手 金メダルへの道

2007年 (平成19年)	7歳から柔道を始める
2012年 (平成24年)	全国小学生学年別柔道大会 優勝
2013年 (平成25年)	田主丸中学校に進学
2014年 (平成26年)	全国中学柔道大会個人戦 優勝
2015年 (平成27年)	全日本カデ体重別選手権 優勝 世界カデ柔道選手権大会 優勝 全国中学校柔道大会個人戦 優勝 団体戦 優勝
2016年 (平成28年)	南筑高校に進学 全日本カデ体重別選手権 優勝 全日本ジュニア柔道選手権 優勝
2017年 (平成29年)	全国高校選手権個人戦 優勝 全日本選抜柔道体重別選手権 優勝 金鷲旗高校柔道大会 優勝 世界ジュニア柔道選手権 優勝 世界選手権団体 優勝
2018年 (平成30年)	皇后杯全日本女子柔道選手権大会 優勝 全日本選抜柔道体重別選手権 優勝 金鷲旗高校柔道大会 優勝 アジア競技大会 優勝 世界選手権団体 優勝
2019年 (令和元年)	全日本選抜柔道体重別選手権 優勝 世界選手権個人 優勝 グランドスラム・大阪 優勝
2021年 (令和3年)	グランドスラム・タシケント2021 優勝 パーク24株式会社に所属 日本大学へ入学 東京五輪 女子柔道78kg超級 金メダル 東京五輪 柔道混合団体 銀メダル

紙面で振り返る歩み

久留米アリーナ完成を飾る

久留米アリーナオープン特集に登場。全日本選抜柔道体重別選手権2連覇達成後に、インタビューに答えています。東京オリンピックに向けて「応援にえられるよう、誰よりも練習して金メダルを獲りたい」と目標を語りました。

平成30年5月1日号



令和元年11月15日号

33年ぶりスポーツ大賞受賞

令和元年に世界選手権を制覇し、中野浩一さん以来33年ぶり2人目のスポーツ大賞を受賞しました。グランドスラム・大阪で優勝し、柔道選手としては東京オリンピック内定第1号を獲得しました。

オリンピックへの抱負を語る

オリンピックを迎える年に市民の皆さんへのメッセージを掲載。「今までよりさらに柔道の練習に気合を入れて頑張っていきます。応援してくれた皆さんに金メダルという恩返しがしたい」と語りました。



令和2年1月1日号